

平成27年度（第15回）

学生生活実態調査報告書

香川大学

まえがき

平成27年度の学生生活実態調査報告書がまとまりましたのでお届けします。昭和61年度に第1回調査を実施して以来、今回で15回目となりました。また、第11回調査で初めて導入されたWebによる調査も今回で5回目となりました。今回の調査は、6月26日から8月5日の期間実施し、在学生の約13%に当たる700名余りの学部学生さんから回答を得ることができました。回答して下さった皆さんには、ここに記して感謝いたします。ありがとうございました。

手軽に回答でき、かつ迅速に集計できるということで始めたWebによる調査ですが、前回は回答にやや学部間の偏りがありました。そこで、今回はこの部分を改善するために各学部から無作為に1/5の学生を抽出して調査をお願いするという方法をとりました。学部間の偏りは解消しましたが、今回は入学年度にやや偏りが出る結果となりました。今後も調査結果がより学生全体の把握につながるよう工夫をしていきたいと思えます。

また今回のアンケートでは、回答時間の短縮を考慮して、調査項目を60項目に減らしました。その結果、質問項目は、経済状況などの基本的事項に関するものが18問、キャンパスライフに関するものが42問となりました。詳しい結果は後述しますが、本調査の結果から学生の皆さんの多様な希望・要求を把握することができます。本調査で明らかになった結果は、学習環境や生活環境の向上を図るための基礎資料として活用したいと考えています。これまで、この調査で得られた回答を契機に平成22年には短期貸付制度が創設され、キャンパス間シャトルバスについては、昨年度の試行運転に引き続き、今年度から本格的に運行しています。

このように、本調査は、大学として、学生の皆さんの学生生活を充実させるためには、どのような支援が必要なのか、どのような施設・制度が不足しているのか、どこを改善していけばよいのか等を検証するための重要な役割を果たしております。学生の皆さんには、今年度も積極的なご回答にご協力いただいたこと、重ねて御礼を申し上げますとともに、学生の皆さんによる積極的な回答・入力を今後とも期待しております。

香川大学は「地域に根ざした学生中心の大学」を目指しております。このためにも、大学のもつ課題に対する学生の皆さんの積極的な関わり、現状に対する率直な意見や提案を今後とも出していただければ大変有り難く思っております。

最後になりましたが、本報告書の作成にご尽力いただいた学生支援センター会議委員の方々及び関係する職員の方々に厚くお礼を申し上げます。

平成 28 年 3 月

副学長（学生支援・男女共同参画担当）

柴 田 潤 子

平成27年度学生支援センター会議委員

センター長	柴田潤子
副センター長	小宮一高
教育学部	坂井聡
教育学部	藤元恭子
法学部	八並廉
法学部	春日川路子
経済学部	佐藤忍
経済学部	園部裕子
医学部	和田健司
医学部	大西美智恵
工学部	小柴俊
工学部	石原秀則
農学部	野村美加
農学部	櫻庭春彦
地域マネジメント研究科	板倉宏昭
連合法務研究科	細谷越史
保健管理センター	高田純
教育・学生支援室	枝川幸司

目 次

第1章 香川大学学生生活実態調査について

(1) 調査の目的	1
(2) 調査実施期間	1
(3) 調査の対象と方法	1
(4) 調査の内容及び項目	2
(5) 集計と報告書の作成	2

第2章 調査結果の概要について

I. 基本的事項について

1. 属性について	3
2. あなたの通学方法について	6
3. 経済状況について	9
(1) 住居の形態	9
(2) 住居を選んだ理由	10
(3) 部屋の間取り	12
(4) 1ヶ月の仕送り額	13
(5) 1ヶ月の支出額	14
(6) 1ヶ月の住居費	15
(7) 1ヶ月の食費	16
(8) 1ヶ月の奨学金	17
(9) 過去1年間のアルバイト経験	18
(10) 1ヶ月のアルバイト収入	19
(11) アルバイトの主な職種	20
(12) アルバイト収入の主な使途	21

II. キャンパスライフについて

1. 学 業	22
(1) 学部・学科の満足度	22
(2) 1日の勉強時間	23
(3) 授業以外の取組	24
(4) アルバイトに費やす時間	26
(5) アルバイトと学業の関係	27
(6) 教員との交流	28
(7) 学生窓口（各学部の学務係等）の対応	29

2. 課外活動	3 0
(1) サークルへの加入	3 0
(2) サークル加入の動機	3 1
(3) サークルの感想	3 2
(4) 学業との両立	3 3
(5) サークルに加入しない理由	3 4
3. 職業選択	3 5
(1) 卒業後の進路	3 5
(2) 選ぶ基準	3 6
(3) 希望する分野	3 7
(4) 職業選定で重視すること	3 8
(5) 就職希望地域	3 9
(6) 就職活動で不安なこと	4 0
(7) 就職に関する大学への要望	4 1
4. 社会規範の遵守、犯罪の被害等	4 2
(1) 危険ドラッグについて	4 2
(2) サイバー犯罪について	4 3
(3) サイバー犯罪で被害にあった内容について	4 4
(4) 自転車の使用について	4 5
(5) 自転車事故に係る保険の加入状況について	4 6
(6) 自転車に係る交通規則の認知度について	4 7
(7) ブラックバイトの認知度について	4 8
(8) ブラックバイトの被害の有無について	4 9
(9) ブラックバイトの被害の内容について	5 0
(10) ブラックバイトの被害にあった際の対処方法について	5 1
5. 健康	5 2
(1) 保健管理センターの利用について	5 2
(2) 身体の具合が悪くなってきたときの対処方法	5 4
(3) 飲酒について	5 5
(4) 喫煙について	5 6
(5) 1日の睡眠時間について	5 7
(6) 1日の食事の回数について	5 8
(7) 精神的ストレス	5 9
(8) ストレスの原因	6 0
(9) 悩みの対処方法	6 1
(10) 学内の友人関係	6 3

第3章 自由記述について	6 5
---------------------	------------